

| 授業コード / Code | 科目名 / Course Title | 担当者 / Instructor | 履修年次 / Semester | 授業形態・単位数 / Style・Credits | 必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects |
|--------------|--------------------|------------------|-----------------|--------------------------|---|
| j29215 | 造形表現指導法 | 畠山 智宏 | 2年次・前期 | 演習・1単位 | 幼免必修 保育士選択必修 |

| 授業の概要 / Course Outline |
|---|
| <p>子どもの主体性を大切にし、子どもが自分なりの思いを楽しみながら表現できる造形活動を支えられるようになるため、代表的な素材や行為による、子どもの発達に応じた造形表現活動を実践的に学びます。そして、子どもの視点や表現の多様性に寄り添うことができる感性を養うとともに、幼児期の造形表現活動の意義や他の領域との繋がり、題材の在り方や保育者の役割について理解を深めていきます。また、素材や道具、環境構成、保育者の配慮などの実践的な知識や技能、態度を習得していきます。</p> |

| 到達目標 / Attainment Objectives | ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy |
|--|--|
| 子どもの主体性を大切にした造形表現活動の意義や保育者の役割について理解し、説明することができる | A-② A-① |
| 子どもの多様で素朴な造形表現を見出し、受け止め、共感することができる | A-① B-① |
| 子どもの発達に応じた造形表現活動の素材や題材、援助や環境づくりについて主体的に考えることができる | A-② C-① |
| | |

| 成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation | | |
|--|-----------------|--|
| 種別 / Kind | 割合 / Percentage | 評価基準等 / Grading Criteria etc. |
| 定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written) | 0% | |
| レポート試験 Report Examination | 80% | 授業での学びをスケッチブックにまとめた「造形ノート」70%、 授業毎に提出する振り返りシート10% |
| 実技試験 Practical skill test | 0% | |
| 平常点評価 Continuous Assessment | 20% | 授業課題への取組み |

| 教科書 / Textbooks |
|--------------------------------|
| 『子どもの造形表現 ワークシートで学ぶ 第二版』(開成出版) |

| 参考書 / Reference Books |
|--|
| 『保育所保育指針解説』(フレーベル館) 『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) |

| 予習・復習 / Preparation・Review |
|---|
| 各回の授業に臨むにあたり、授業日程で示した授業内容について、教科書の該当ページなどで予習しておくこと。 授業後は、授業での学びをドキュメンテーションとして、B4またはF4サイズのスケッチブック(造形ノート)にまとめておくこと。(予習復習の時間は90分程度) |

| 課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks |
|---|
| 毎時の振り返りシートについては、授業時に全体向けにフィードバックを行う。 造形ノート、授業課題については、講評を添えて返却する。 |

| その他 / Others |
|---|
| B4サイズまたはF4サイズのスケッチブックを用意すること。必要な材料や道具については各回の授業の中で説明します。 実際に素材を用いた活動の回では、活動しやすく絵の具等が付いてもよい服装で受講すること。 |

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

| 授業回数 Lecture | テーマ / Theme |
|-----------------|---|
| | 内容 / Contents |
| 01 | ガイダンス／造形表現活動の振り返り 自身の幼少期からの造形活動や実習での子どもの姿から、造形活動の意義や目的、援助や指導のあり方について考える |
| 02 | 子どもの発達と造形表現の世界 子どもの描画や造形の発達について学ぶとともに、保育者の配慮等について理解する |
| 03 | 描いて表す活動(1)クレヨンやパスで表す クレヨンやパスで表す活動活動における発達に沿ったねらいや内容、保育者の援助や環境づくりについて学ぶ |
| 04 | 描いて表す活動(2)絵の具に親しむ 3、4歳児向けの絵の具で表す活動におけるねらいや内容、保育者の援助や環境づくりについて学ぶ |
| 05 | 描いて表す活動(3)絵の具で表す 5歳児向けの絵の具で表す活動におけるねらいや内容、保育者の援助や環境づくりについて学ぶ |
| 06 | 切る・くっつける活動(1)紙で表す 紙をちぎる、切る、貼るなどの行為に着目した活動における発達に沿ったねらいや内容について学ぶ |
| 07 | 切る・くっつける活動(2)道具を使う ハサミなどの道具を使った活動と安全面の配慮について学ぶ |
| 08 | 切る・くっつける活動(3)みんなで表す みんなで切ったりつなげたりして表す活動におけるねらいや内容、保育者の援助や環境づくりについて学ぶ |
| 09 | ねんどでつくって表す活動 ねんどの活動における発達に沿ったねらいや内容、保育者の援助や環境づくりについて学ぶ |
| 10 | 写して表す活動 写して表す活動における発達に沿ったねらいや内容、保育者の援助や環境づくりについて学ぶ |
| 11 | 活動の観察とドキュメンテーション(1) 活動の様子を観察し合い、造形表現における子どもの学びについて考える |
| 12 | 活動の観察とドキュメンテーション(2) 写真とコメントを併用して活動を記録する方法と、その有用性について考える |
| 13 | 教材の研究(1) これまでに授業で取り上げた題材や素材に対する、活動や遊びの広がりや繋がりを踏まえた立案をする |
| 14 | 教材の研究(2) 前回までの立案内容の試行や発表をする |
| 15 | 学修のまとめ 学修内容を振り返りながら、造形表現活動の意義や他の領域との関わり、保育者の役割について改めて考察する |